

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-20℃ ～ +85℃	保存温度範囲	-10℃ ～ +60℃	
	電 圧	AC 200 V , DC 250 V			
	電 流	3 A	適合ケーブル	(φ6.5～φ7.3)	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	単位コネクタにDC 1Aで測定する。(MIL-C-2316)	20mΩ以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 500Vで測定する。(MIL-STD-1344 3003)	1000MΩ以上	○	○
電 氣 的 性 能	耐電圧	AC 900Vの電圧を1分間印加する。 (MIL-STD-1344 3001)	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
	コネクタの挿抜力	φ0.736 ⁰ _{-0.003} 鋼製ピンで測定する。	挿抜力 0.2N以上	○	—
機 械 的 性 能	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。但し、ロック機構は除く。	挿入力 70N以下 抜去力 50N以下	○	—
	繰り返し動作	500 回の抜き差しを行う。 (MIL-C-5015 4.6.12.2)	単位コネクタの接触抵抗: 30mΩ以下	○	—
電 氣 的 性 能	耐振性	周波数 10～ 500 Hz, 振幅 0.75mm, 加速度 98m/s ² で3方向各3h試験する。 (MIL-STD-1344 方法2005条件Ⅱ)	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	耐衝撃性	加速度490m/s ² , 持続時間11ms, 正弦半波 3方向各3回試験する。 (MIL-STD-1344 方法2004条件E)	①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
機 械 的 性 能	コンタクト保持力	圧着結線した適合コンタクトを組み込み後、電線に引張荷重を加える。	20 N 以上	○	—
	温度サイクル	温度 -55℃ → 常温 → +85℃ → 常温 時間30 → 2～3 → 30 → 2～3 分 を5サイクル試験する。	①絶縁抵抗:500MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度71℃, 湿度95%中に336時間放置する。 (MIL-C-5015 4.6.10)	①絶縁抵抗:50MΩ以上(高湿時) ②絶縁抵抗:500MΩ以上(乾燥時) ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	耐水圧性	適合コネクタをカン合した状態で 水深1mlに0.5時間放置する。(JIS B 6015)	コネクタ内部に浸水が無いこと。	○	—
環 境 的 性 能	耐気圧性	適合コネクタをカン合した状態で エア一圧40kPaを30秒間加える。	コネクタ内部より気泡の漏れがないこと	○	—
	耐油性	適合コネクタをカン合した状態で切削油中に 48時間放置する。	コネクタ内部に油の浸入の無きこと	○	—
環 境 的 性 能	塩水噴霧	濃度5%の塩水、48時間放置する。 (MIL-STD-1344, 方法3001 条件B)	機能を損なうような、はなはだしい腐食がないこと。	○	—
	耐熱性	温度 +85 ℃中に96時間放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
環 境 的 性 能	耐寒性	温度 -55 ℃中に96時間放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
Q					
備考			承認	HY. KOBAYASHI	18.02.26
1. 上記性能は、適合圧着端子を組み込んだ状態での値を示す。			検 図	HY. KOBAYASHI	18.02.26
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。(IEC 60512)			担 当	DS. MATSUNE	18.02.24
			製 図	AI. NISHIYAMA	18.02.22
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番	SLC-117755-31-00		
HRS	製 品 規 格 表		製品名	HR08D-12WLPN-10SC(31)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL108-0271-7-31	△ 1/1